

和歌山だよい



平成27年
(2015) 4月号



高野山金剛峯寺（高野町）

CONTENTS

1. 知事メッセージ ······ P1
2. 和歌山県政トピックス ··· P2 ~ P11
3. ふるさと歳時記 ······ P12 ~ P13

弘法大師空海による密教の道場建設から1200年を迎えた高野山では、4月2日から5月21日までの間、弘法大師が残した大いなる遺徳への感謝を込めて絢爛壮麗な法会の数々が執り行われます。この機会に、是非和歌山にお越しください！



価格転嫁

安倍政権の発足以来、経済政策、特に金融政策ががらりと変わり、その結果、円安、株高には顕著なものがあり、企業業績も輸出採算を有する大企業を中心に総じて急速な改善が見られます。しかし、和歌山をはじめ地方の景気はあまりよくありません。これが地方創生政策の動機の一つになっているのは間違ひありません。

何故地方の景気がそう良くならないのかというと、輸出で業績が良くなつた大企業がその従業員の給料は上げたけれど、下請け、部品・材料供給業者、運送、荷役などへのサービス提供業者への支払い価格をなかなか上げてくれないからだと私は思います。和歌山のような地方では、この手の企業が多いので、その従業員の給料が上がらず、どうしても住民の消費になかなか火が付かないのです。以上の事は、はつきりとデータに出てきています。

私は昨年の春頃から、この点を指摘し、政府各方面にも、儲かった企業から部品、サービス提供企業への価格転嫁を強力にプッシュしてくれるように働きかけを行ってきましたし、和歌山にある数少ない輸出業績が好調な大企業には直接頭を下げてお願いに行ってきました。

政府を中心とする政労使のトップも段々とこの事の認識を深めてくださり、昨年12月の申し合わせでは、はつきりと「経済界は(中略)取引企業の仕入れ価格の上昇等を踏まえた価格転嫁や支援・協力について総合的に取り組むものとする。」としてくれています。

2月の初め、この件で旧知の日本商工会議所の三村会頭の所へお願いしに上がりました。会頭は、「全くその通りだ。自分たち日商も率先してそう主張している。政府にも働きかけをして欲しいし、地方からもそういう声をどんどん上げて欲しい。」と逆にエールを送られました。

しかしながら、そもそも価格転嫁がうまくいくかどうかは、企業と企業の価格交渉の問題ですから当事者たる地方企業がよく実情を説明して、価格転嫁を認めてくれるよう積極的に行動を起こさないと話は始まりません。従って、業績が良くなつた購入先には、進んで価格転嫁をお願いしましょう。することによってもし万一、相手から不当な取り扱いをされるようなことがあれば、県庁にご通知ください。一丸となって皆さんを応援します。



3/19 きいちゃん募金感謝状贈呈式にて

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

●知事がインド・ベトナムを訪問

- ・3月8日から3月13日までの日程で、仁坂知事はインド及びベトナムを訪問しました。
- ・インドには、一昨年10月に観光・食品加工分野で覚書を締結したマハラシュトラ州との友情を確かめるため訪問しました。同州は、人口1億1千万人、デカン高原の大農業地帯と鉄鋼、石油、化学、自動車などの産業を擁し、州都であるムンバイはインド経済・文化の中心であり、タタやリライアンス、ビルラなどインド大財閥の本拠地やインド中央銀行本店を有するなど、インドで一番の経済力を有しています。さらに、ボリウッドと呼ばれる、売上げではハリウッドをしのぐ映画産業や、アジャンタやエローラという世界遺産があり、世界から注目される観光地でもあります。
- ・今回の訪問では、昨年10月の政権交代に伴い同州で誕生した ファドナヴィス州首相と会談し、改めて本県と同州との友情を確かめ、交流を促進していくことで合意しました。また、今年5月には、同州の英雄でインド憲法の父である アンベードカル博士の記念碑を高野山に設置することとなり、その除幕式に同州首相が出席されることとなりました。
- ・ベトナムについては、従来のように地方省との姉妹関係を結ぶのではなく、中央政府と具体的な協力をしようという方針を立てて、準備を進めてきました。今回、かつらぎ町出身で長年ベトナムにおいて活躍してこられた 築野 元則前JICA関西所長の御協力を得て、チュオン・タン・サン国家主席や ホアン・チュン・ハイ副首相ら政府首脳と意見交換を行うとともに、カオ・ドク・ファット農業農村開発大臣との間で「相互協力に関する覚書」を締結することができました。また、県産品の販路拡大やベトナムからの観光客誘致を目的に、ミッションに参加していただいた県内企業8社とともに「和歌山プロモーション」を開催し、大勢の来場者に和歌山県の魅力や技術・產品を大いにPRしました。

インド

○マハラシュトラ州首相、ラオ州知事との会談

- ・3月9日、仁坂知事は、ファドナヴィス州首相を訪問し、デサイ州産業大臣、伊藤 嘉章在ムンバイ日本国総領事ら出席のもと、今後の交流について意見交換をしました。仁坂知事から、観光分野での交流に加え、食品加工分野や企業間協力分野での交流促進について打診したところ、同州首相からも、和歌山県は最も親しい交流相手であり、今後積極的に進めていくとの回答を得ました。



- ・3月10日には、チェンナマネイ・ヴィディヤサガール・ラオ州知事を訪問し、今までの交流の経緯や今後の交流について意見交換しました。なかでも、アンベードカル博士の記念碑設置について大きな关心を示されました。

○現地大手旅行会社との懇談

- ・3月10日、仁坂知事はインド航空の協力を得て、現地大手旅行会社に対し、和歌山県とマハラシュトラ州との交流及び本県が誇る豊かな観光資源について、具体的に観光ルートを提案し、プレゼンテーションを実施しました。
- ・現地旅行会社からは、旅行先としての和歌山県について高い関心が寄せられ、本県へのファムトリップ(視察招待旅行)の実施を含め、旅行商品造成に向けた取組を進めることとなりました。



○ババサヘブ・アンベードカル・マラサワダ大学副学長との会談

- ・仁坂知事は、高野山大学 奥山 直司教授同席のもと、チョパデ副学長と両大学間の交流について協議しました。同副学長から、単位取得や講師、学生の相互派遣などの交流について提案があり、今後大学同士で調整することとなりました。



ベトナム

○サン国家主席、ハイ副首相との会談

- ・3月11日、仁坂知事は、チュオン・タン・サン国家主席、ホアン・チュン・ハイ副首相を相次いで表敬訪問し、ベトナムと紀の川市との間で進む「蓮の花の交流」を紹介するとともに、農業・水産業分野での経済交流や防災・観光分野での交流について意見交換しました。



○ベトナム農業農村開拓大臣との覚書締結

- ・仁坂知事は、カオ・ドク・ファット農業農村開拓大臣との間で「相互協力に関する覚書」に署名しました。覚書は、①生産・加工・流通分野での技術力向上、②人材育成、③農水産物・加工品の貿易促進の3つが柱となっており、今後、県の食品加工企業によるミッションを派遣するなど相互に行き来する機会を増やし、具体的な取組を検討することとなりました。



・覚書締結式に続いて、ファット農業農村開拓大臣主催の歓迎夕食会があり、県ミッション参加企業と同省の幹部らとの意見交換を行いました。特に、ズAIN副大臣にはハノイ空港到着時のお出迎えに始まり、出発時のお見送りまでずっと同行していただくななど大変お世話になりました。

○和歌山プロモーション&観光セミナー

- ・3月12日、ズAIN農業農村開拓副大臣をはじめとする政府要人、国営放送VTVをはじめ各種メディア、現地企業関係者など約300名の参加を得て、県の観光や產品、産業を紹介する「和歌山プロモーション」を開催し、仁坂知事から和歌山県の概要や魅力を紹介するとともに、参加企業8社の代表者がプレゼンテーションを行いました。



・レセプションでは、県産の梅酒と日本酒を使ったカクテルで乾杯するなど県産品を活用したほか、参加企業がブースを設けて自社の取組や製品を紹介するなど、大勢の来場者とともに盛り上がりを見せました。その後、県観光交流課とユタカ交通株式会社による現地旅行社向けの観光セミナーを開催し、県内の観光資源や具体的な行程について説明を行いました。観光施設や宿泊施設の詳細について多くの質問が寄せられるなど、ベトナムからの旅行先として、和歌山県に高い関心が示されました。

○ミッション参加企業

企業名	主な商品	企業名	主な商品
永山電子工業(株)	特殊Tナット	(株)クリーンサワ	クリーニング機械
築野食品工業(株)	米油	もりもとや	あんぽ柿
紀北川上農業協同組合	柿加工品	(株)ヤマサ脇口水産	マグロ加工
和歌山外国語専門学校	日本語教育	ユタカ交通(株)	旅行業

○商工副大臣との会談

- ・また、仁坂知事は、ホー・チー・キム・トア商工副大臣と会談し、和歌山県の取組を紹介するとともに、経済ミッション派遣時の受入体制の整備など相互の貿易促進について意見交換しました。



●高野山開創1200年記念大法会が開幕！

・4月2日、弘法大師・空海が平安時代に修行道場を開いた高野山において、「開創1200年記念大法会」が始まりました。

・1万人以上の参詣者で賑わう中、多くの僧侶らにより、172年ぶりに再建された伽藍中門の落慶法会が盛大に執り行われ、横綱白鵬、日馬富士の土俵入りが花を添えました。続いて、金堂で大法会が営まれ、本尊で秘仏の薬師如来像が特別に開帳されました。

・その後、金剛峯寺で実施された式典において、仁坂知事は、「高野山内は、長い年月を経てもなお、開創当時の様相を失わず、大師の精神が隅々まで脈々と生き続けている。時を超えて、永遠に人々を救い続けるこの地は、まさに日本の精神文化の神髄である。」と、高野山の魅力を語るとともに、記念大法会が無事に執り行われることを祈念しました。

・この記念大法会は、5月21日まで実施されます。この間、壇上伽藍や奥之院などで様々な法会が執り行われるほか、金堂、金剛峯寺における御本尊特別開帳や高野山靈宝館における秘宝、秘仏の特別公開などが行われています。期間中に見ることができる一部を御紹介しますので、皆さんも、是非この機会に高野山にお越しください。

◎金堂の御本尊特別開帳

期 間：4月2日～5月21日

場 所：壇上伽藍金堂

御本尊：薬師如来(阿闍梨如来)

昭和9年、当時の大仏師・高村光雲により造られて以来80年あまり厨子内に安置された秘仏

◎金剛峯寺の持仏御本尊開帳

期 間：4月2日～5月21日

場 所：金剛峯寺持仏の間

御本尊：弘法大師座像

平成11年の平成の大修理落慶大法会の際に開帳されて以来、16年ぶりの開帳

◎旧正御影供・御逮夜法会

実施日：5月8日、5月9日

場 所：壇上伽藍御影堂 奥之院燈籠堂

弘法大師の御入定を偲び、奥之院・壇上伽藍で行われる御影供の法会
前日(5/8)の夜には、御影堂で年に一度の一般内拝を実施

◎結縁灌頂

実施日：4月22日～24日、5月12日～14日

場 所：高野山大師教会

仏の世界を表す曼荼羅に花を投じることで仏様と御縁を結び、本来持っている仏の心と智慧を導き開く儀式

- ・詳細は、高野山總本山金剛峯寺のホームページを御覧ください。

<http://www.koyasan.or.jp/k1200/>



●第7回プレミア和歌山推奨品が決定！！

・3月3日、安心・安全を基本に、「和歌山らしさ」、「和歌山ならでは」といった観点から県産品を認定・推奨する和歌山県優良県産品(プレミア和歌山)の第7回推奨品決定に係る発表・内覧会を開催しました。

・仁坂知事から、本年度の推奨品が発表された後、残間里江子審査委員長から特に優れた产品に対して授与される「審査委員特別賞・奨励賞」の受賞产品が発表され、表彰式も行われました。

・推奨品の内覧会には、「プレミア和歌山パートナー」の山本一力さん、泉麻人さんも来場され、推奨品の試食などで盛り上りました。

<審査委員特別賞>

○幻のはたごんぼ

(農業組合法人くにぎ広場・農産物直売交流施設組合)

・橋本市西畠地区で作られるごぼう。長さは約1m、直径5~6cmと通常のごぼうより長く、太い。身は柔らかく、香りが強く味がよいのが特徴。

・江戸時代から盛んに作られていた伝統野菜で、収穫した「はたごんぼ」は、「雑事(ぞうじ)」として高野山金剛峯寺に奉納していました。

・お求めなど詳しくは、こちらにお問い合わせください。

農事組合法人くにぎ広場・農産物直売交流施設組合
電話：0736-32-2209

○第7回プレミア和歌山推奨品一覧

事業者名	推奨認定品の名称	事業者名	推奨認定品の名称
株紀和農園 プロダクツ	紀州南高梅夢葵 彩の舞 25粒 紀州南高梅夢葵 彩の舞 16粒	農業組合法人 黒沢牧場	くろさわ牧場アイスクリーム ミルク
CONFITURE KOYA	ネーブルマーマレード 桃ジャム	(有)レストランフライヤ (有)しよう	黒毛和牛のハヤシソース 和歌山のゆず
松川農園	金柑ジャム	(株)岩谷	紀州梅まだい梅
やまね	カリカリウツボ うめ味		熊野の香りクロモジアロマオイル
勝浦漁業 協同組合	紀州勝浦まぐろ CAN「まぐろ 経済学シリーズ」まぐろ水煮 紀州勝浦まぐろ CAN「まぐろ 経済学シリーズ」まぐろオイル漬		熊野の香り熊野ヒバキ(材)アロマオイル
(株)角長	諸味ペースト醤	エムアファブリー (m' affably)	熊野の香り熊野ヒバキ(枝葉)アロマオイル
REICAFE	はちみつ塩バニラ まりひめ塩ヨーグルト		熊野の香り熊野杉芝原アロマオイル
(株)大覚総本舗	胡麻ふるり 白胡麻 胡麻ふるり 黒胡麻	村上養蜂	熊野の香りクロモジアロマウォーター
(株)MAHALO	湯浅醤油ばうむ	森林工房大江	熊野の香り熊野ヒバキ(材)アロマウォーター
			熊野の香り熊野ヒバキ(枝葉)アロマウォーター
			熊野の香り熊野杉芝原アロマウォーター
			ほんまもん蜜柑蜂蜜
			龍神真榊

- ・プレミア和歌山の詳細については、プレミア和歌山のホームページを御覧ください。
<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/premierwakayama/>



今月の和歌山県政トピックス

●「和歌山県企業ソムリエ委員会」認定企業が決定！

・3月17日、「和歌山県企業ソムリエ委員会」(会長：島 正博(株)島精機製作所 代表取締役社長)が決定した、平成26年度の認定企業 有限会社 ハヤシ・シザース(和歌山市)への認定証授与式が行われました。同委員会は、次代の県経済をリードする企業を発掘するために設置されたものです。

・授与式では、(有)ハヤシ・シザース 林 伸昭代表取締役に、島会長から認定証の授与と記念品の贈呈、仁坂知事から和歌山県企業ソムリエ委員会にちなんだワインが贈呈されました。仁坂知事は、「世界に向けて販路を拡大してほしい。」と期待の言葉を述べました。

・(有)ハヤシ・シザースの今回の受賞は、ハイテク技術と匠の技を駆使し、刃の部分のみを硬度化する技術により、半年間のメンテナンスが不要な超高硬度のハサミを開発していること、そして今後は、欧米などへの販路拡大を目指すというビジネスプランが高く評価されたものです。

・そのほか、自社の社員が理美容師から直接オーダーを細かく聞き取り、技術者がひとつひとつ手仕事でハサミを作り上げていく、同業他社では見られないビジネススタイルを確立しています。また、切れ味や耐久性はもちろんのこと、グリップ感やバランス感など、使い心地も深く追求しています。さらに、使用後の研ぎやメンテナンス等のアフターケアも充実させ、顧客から高い信頼を得ています。企業や製品の詳細については、(有)ハヤシ・シザースのHPを御覧ください。<http://www.hayashi-scissors.com/>

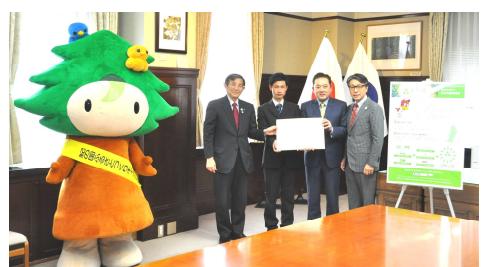


●楽天 株式会社が「企業の森」に係る協定に調印

・3月16日、楽天 株式会社(東京都品川区)が、田辺市において県の「企業の森」事業を活用し、森林保全活動を実施することとなり協定の調印式を行いました。先月、先々月号でも「企業の森」の活動を紹介しましたが、今月も1社が参画することとなり、参画企業・団体数は65、活動場所は67箇所となりました。



・調印式において、仁坂知事は、「企業の森の中でも、大きな面積で活動してくださり本当にありがたい。」とお礼を述べ、楽天(株) 和田 圭執行役員は、「企業側から見ると、森林整備が自治体や所有者のニーズに沿って実施されているのは素晴らしいこと。まず3年間、間伐を行う。」と話されました。



・楽天(株)は、インターネットショッピングモール「楽天市場」を中心とし、電子書籍、トラベル、銀行、証券、クレジットカードなど、多岐にわたる分野でのサービスをグループに加え、あらゆるサービスをインターネット上からワンストップで提供している会社です。同社では、楽天イーグルスのマスコット“クラッチ”的モデルであるイヌワシが、絶滅の危機にあることから「イヌワシを守ろうプロジェクト」を平成24年に開始し、その後継承・発展させた「楽天の森」プロジェクトを立ち上げ、すべての生き物が暮らしやすい環境を整えるための活動を全国で展開しています。

●FOODEX JAPAN 2015に和歌山県ブース「わかやま紀州館」を出展！

・3月3日から3月6日の4日間、幕張メッセ(千葉県千葉市)において開催されたアジア最大級の食品・飲料の国際商談展示会“FOODEX JAPAN 2015 第40回国際食品・飲料展”に、県内の19事業者とともに和歌山県ブース「わかやま紀州館」を出展しました。

・8年連続の出展となった今回は、梅干、梅酒、梅関連製品、みかんジュース、柿加工品、醤油、畜産品、水産品などを取り扱う以下の事業者が出展しました。古くから日本人の活力を支えてきた豊かな食材や食品が和歌山県ブースに集結する中、2月に東京で開催されたスーパーマーケット・トレードショーの県ブース「おいしい！健康わかやま」と装飾コンセプトを統一することで、両展示会に来場するバイヤーに共通のイメージで和歌山県をアピールしました。

・また、今回は展示スペースが半分のコースや、2日間ずつの出展ができるトライアルコースを用意しました。さらに、英語の通訳を配置するとともに、出展者看板やチラシにも英語社名を表記するなど、輸出商談に備えたブース運営としました。

・県では、会場での商談の効率や成功率をできるだけ高めることができるよう、出展事業者の方々とともに、生産者支援セミナーや生産者意向調査など様々な取組を行った結果、多くの成果を挙げることができました。

・会場には4日間で、約77,000人が来場。県ブースも多くの来場者で賑わい、今後の販路拡大が大いに期待できます。



事業者名	商品	事業者名	商品
梅光園ワールド商会(株)	太古のええ塩梅等	株早和果樹園	有田みかんジュース等
(株)勝喜梅	勝喜梅 梅干	(株)酒のかまくら	紀州柑々屋 みかん酒シリーズ等
マルヤマ食品(株)	梅干及び梅関連商品	中田食品(株)	梅酒：樽、古城の煌めき等
河本食品(株)	梅酒 永遠の零等	カレー革命 wakayama	カレー：野菜と果物のカレー等
井上梅干食品(株)	紀州南高梅等	株角長	醤油、醤油関連製品
(株)濱田	有機梅干、調味梅干等	紀州うめどり・うめたまご協議会	紀州うめどり、うめたまごうめどり関連製品
(株)丸惣	紀州産南高梅 梅瑞祥等	株たがみ	熊野米リゾット、熊野米
もりもとや	甘干し四郷柿 氷温熟成等	株ねじ庄	手搾り果実のお酒等
(株)小南農園	田村みかんまるごとゼリー等	木下水産物(株)	超食感・もちもちまぐろ
(株)伊藤農園	和歌山産柑橘ストレートジュース等		

●笠野興産 株式会社が本社工場を増設

・この度、笠野興産株式会社(本社：和歌山市)が、和歌山市の本社工場の増設を決定されました。昭和8年設立の同社は、有機合成化学品のほか、医薬品、食品分野でも着実な成長を遂げ、工業用薬剤・食品等の原料から最終製品まで多種類の製品を取り扱っています。

・今回、医薬品第3工場を増設することで包装ラインを強化し、今後、さらに成長が見込まれるジェネリック医薬品市場に安定供給できる製造体制を構築し、医薬品事業のさらなる拡大を目指しています。今年10月に操業開始予定で、新規地元雇用者14名が見込まれています。

今月の和歌山県政トピックス

●太陽シールパック 株式会社が西浜工業団地に新工場建設

・3月30日、太陽シールパック株式会社(本社：和歌山市)が、和歌山市の西浜工業団地に新工場を建設し本社及び和歌山工場を拡張移転することが決定、同社 糟谷 雅隆代表取締役、藤本 陽司県商工観光労働部長、尾花 正啓和歌山市長が出席する中、和歌山市役所において協定調印式が行われました。これで平成18年12月以降の企業立地件数は135件となりました。



・昭和30年設立の同社は、日本各地に5つの工場を有する国内トップシェアのファイバードラム(紙製のドラム缶)メーカーで、同社のファイバードラムは、軽量で気密性や耐圧強度が高く品質保持能力が非常に優れており、化学、医薬品、食品メーカーなど幅広い産業分野で利用され、ユーザーから高い評価を得ています。また、原料に古紙を利用するなど資源の再利用も積極的に推進されています。

・今回、新素材メーカーとの取引増加や外注製品の内製化など、製造能力強化が必要となり、新工場を建設する運びとなりました。新工場は、平成28年中に操業開始予定で、新規地元雇用者13名が見込まれています。

●県立仙渓学園の竣工式を実施しました

・3月20日、築40年以上経過する施設の老朽化等により、現地(紀の川市東三谷900)において改築整備を進めていた仙渓学園が完成し、竣工式と内覧会を開催しました。

・式の冒頭、仁坂知事は、「ずいぶん設備がよくなり、子どもがのびのびと暮らしていくのではないか。」と、期待を込めて挨拶しました。

・仙渓学園は、児童福祉法に基づいた県立の児童福祉施設で、職員と起居を共にしながら健全な社会の一員として自立できるよう支援する施設です。紀州材を多く使用した新施設は、新たに保健心理面接室を備え、児童の心理面に対する専門的なケアを行う体制を充実させるとともに、音楽教室、家庭科教室、パソコン教室等の特別教室や、バスケットボール、バレーボール等の球技ができる体育館を新設するなど、教育設備を充実させています。また、小学生を受け入れる場合に備え、教室を新設しています。



●国道371号「高野山道路」が開通！！

・3月28日、高野山開創1200年記念大法会を控えた高野町高野山において、平成21年度から県が建設を進めてきた国道371号「高野山道路」(延長約4.3km)の開通式典を行いました。

・約300人が出席する式典の冒頭、仁坂知事は、「高野山の山内が、和歌山県の幹線道路のど真ん中に位置しているところもあり、高野山に用事のない方も高野山の中を走ってくる構造になっていた。これでは高野山の静寂で気高い雰囲気が壊れてしまうので、高野山に用事のない方は、ちょっと横を通ってもらえる。開創1200年を前にこの道ができるて本当にありがたい。」と挨拶しました。その後、多くの地元の方々が参加し、くす玉開披や餅まき、祝賀パレードを行い、盛大に開通を祝いました。

・高野山内を通る「高野山道路」は、観光の車と混在していた通過交通を迂回させることが可能となり、渋滞緩和や安全・安心を確保することはもとより、防災機能強化や観光振興など地域の活性化に大きく寄与するもので、地域住民の方々が誇りと愛着を持って大切に守り伝えてきた歴史、文化、生活環境が、良好な状態で保たれることが期待されます。



●切目川ダム竣工式を開催しました

・3月28日、平成3年度から建設を進めてきた「切目川ダム」が完成し、地元の方をはじめとする約300人が出席する中、竣工式を開催しました。

・冒頭、仁坂知事は「豪雨による水害が、ダムの完成で解消され、地域住民の安全安心な生活に寄与する。」と期待を込め、日裏 勝己印南町長も「ダムは私たちの誇りと象徴として後生に引継いでいきたい。」と挨拶されました。その後、多くの地元の方々が参加する中、テープカット・くす玉開披や餅まきなど盛大に竣工を祝いました。

・切目川は、印南町内を流れる2級河川で、流域ではこれまで、洪水や渴水の被害が相次いでいたことから、平成3年度に切目川ダムの実施計画調査に着手しました。県が管理する5つの多目的ダムである切目川ダムは、重力式コンクリートダムで、洪水調節を行い洪水から流域の方々の生命や財産を守るほか、川本来の流れを保ちつつ安定した水道用水を供給することで、地域の方々の安全安心な生活に大きく寄与するものと期待されています。



今月の和歌山県政トピックス

●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会が盛り上がってます！！



・両大会の運営を支えていただく「運営ボランティア」を、平成25年9月から募集を開始したところ、個人でお申し込みいただいた県民の皆さんをはじめ企業や団体、そのほか県外の方々を含めると、4,900人の募集に対し5,500人もの御応募をいただきました。(平成27年3月31日募集終了)

・応募者のうち、個人での申込みが7割と先催県と比べても割合が高くなっています。また、企業・団体の方々についても自発的に申込みいただいたものであり、まさに県民総参加での開催となります。ボランティア活動を通して、多くの皆さんを温かくお迎えし、両大会が心のこもったものとなることを目指します。御応募いただいた方々には、感謝申し上げます。

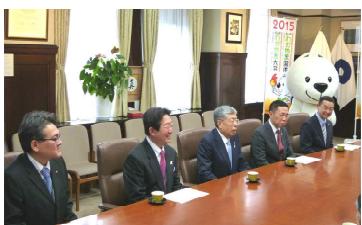
●「きいちゃんアプリ」を配信中！

・4月1日から、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の公式アプリ「きいちゃんアプリ」を配信しています。競技日程や会場などの両大会開催情報はもちろんのこと、観光・グルメなど和歌山の魅力に関する情報や、コンビニ・銭湯など役立つ情報が満載です。また、きいちゃんが、開・閉会式会場までナビゲートしてくれるAR(拡張現実)ナビ機能やきいちゃんと写真撮影ができるカメラ機能などもあります。

・スマートフォン御利用の方は、「App Store」「Google Play」からダウンロードでき、無料でお楽しみいただけます。なお、AR機能を使用する際は、スマートフォンアプリ「junai!」をダウンロード(無料)する必要があります。



●紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会に係る募金及び企業協賛感謝状贈呈



・3月19日、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会募金(きいちゃん募金)へ寄附をいただいた企業・団体及び「オフィシャルサプライヤー」として、新たに協賛いただくことが決定した企業・団体の方々に、仁坂知事から感謝状を贈呈しました。仁坂知事はお礼とともに、「ボランティアも集まり、準備は順調に進んでいる。県民総参加で楽しんでもらえれば。」と述べました。

・提供いただきました寄附金は、両大会のボランティア活動や県民運動などの経費に、物資等は大会運営に活用させていただきます。

○寄附企業・団体

企業・団体名	出席者	企業・団体名	出席者
和歌山県商工会議所連合会	片山 博臣 会長	株式会社第一テック	朝間 一議 代表取締役

○オフィシャルサプライヤー

企業・団体名	提供内容	出席者
株式会社 井内屋種苗園	両大会開・閉会式会場装飾に係る植栽等	井内 優 専務取締役
株式会社 モデナ	自動車の貸与	坂本 巍 代表取締役 会長
ALSOK ありがとう運動	紙製折りたたみ式オペラグラス	綜合警備保障(株) 辻 俊幸 和歌山支社長

●第87回選抜高校野球大会出場校壮行式開催！

- ・3月16日、第87回選抜高校野球大会に21世紀枠で出場した県立桐蔭高等学校（53年ぶり16回目）の健闘を祈念して、県庁正面広場で壮行式を開催しました。
- ・桐蔭高校の卒業生でもある仁坂知事は、



「皆さんには、21世紀枠という最も栄誉ある選出方法で選ばれた。相手は強豪であるが、文武両道の学校として選ばれているので、頭を使って考え、日頃鍛えた技量と合わせて相手を攻略してほしい。」と激励し、さらに、旧制和歌山中学（現桐蔭高校）の“向学の精神”が記された大正時代の漢文「和中魂」や、桐蔭応援歌を引用しながら声援を送りました。桐蔭高校の石井佑典主将は、「先輩方の伝統おかげで出場できることに感謝するとともに、恩返しするためにも1勝を挙げてくる。21世紀枠で選ばれたので、他校の模範となるよう、きびきびしたプレーで頑張りたい。」と大会に向けての意気込みを語りました。

- ・3月22日、初戦で今治西高校（愛媛県）と対戦した同校は、最後まで勝負の行方がわからない熱戦の末、7-11で惜しくも敗退しましたが、ひたむきにプレーする姿は大きな感動を与えました。

●県庁新規採用者辞令交付式を実施しました

- ・4月1日、県庁の正庁において、今年度新規採用された職員一人ひとりに対して、仁坂知事から辞令が交付されました。
- ・その後、新規採用職員を代表して、有田振興局に配属の西條大輔主事が、「県民全体の奉仕者として誠実公正に職務を執行することを誓います。」と宣誓した後、仁坂知事から、「どうすれば県民の幸せになり、県が発展できるかを考え、楽しく、面白く仕事をしてほしい。」と訓話し、職員らは緊張の面持ちで聞き入っていました。
- ・今年度の新規採用職員は、昨年度より9人多い114人で、早速県内各地の配属先に赴任し、「元気な和歌山」の実現に向けて、職務に当たっています。



イベント情報(4月11日～5月10日)

期間	行事名	場所	問い合わせ先
4/11	隅田八幡神社講社祭	橋本市・隅田八幡神社	隅田八幡神社 0736-32-0188
4/13～ 4/15	熊野本宮大社例大祭	田辺市・熊野本宮大社	熊野本宮大社 0735-42-0009
4/14	桜花祭	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
4/19	花盛祭と渡御	かつらぎ町・ 丹生都比売神社	丹生都比売神社 0736-26-0102
4/19	La Festa Primavera 2015	和歌山市・ 和歌山城砂の丸広場ほか	和歌山市観光課 073-435-1234
4/20 4/21	高山寺春まつり	田辺市・高山寺	高山寺 0739-42-0274
4/21	奥之院萬燈会	高野町・奥之院	金剛峯寺 0736-56-2011
4/27	道成寺鐘会式	日高川町・道成寺	道成寺会式実行委員会 0738-22-2041
4/29	上阿田木神社春まつり	日高川町・上阿田木神社	上阿田木神社 0738-56-0207
4/29	生石高原山開き	紀美野町、有田川町 ・生石高原	紀美野町産業課 073-489-2430 有田川町商工観光課 0737-52-2111
4/29～ 5/3	ゆあさ行灯アート展	湯浅町・重要伝統的 建造物群保存地区内	ゆあさ行灯アート展開 催準備会 0737-62-4865
5/3	船玉神社祭	田辺市・船玉神社	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
5/3	海開き	白浜町・白良浜海水浴場	白浜観光協会 0739-43-5511
5/3	イノブータン王国建国30 周年祭&イノブタダービー	すさみ町・すさみ海水浴場	イノブタダービー実行委員会 0739-55-2293
5/4 5/5	真田まつり武者行列	九度山町・入郷	真田まつり実行委員会 0736-54-2019
5/6	佐藤春夫御供茶式	新宮市・佐藤春夫記念館	新宮市文化振興課 0735-23-3368
5/8	興国寺花祭り	由良町・興国寺	興国寺 0738-65-0154
5/8 5/9	旧正御影供・御逮夜法会	高野町・壇上伽藍	總本山金剛峯寺 0736-56-2011
5/10	みかんの花街道ウォーク	有田市・市内山間部	有田市有田みかん課 0737-83-1111

自然・風物情報(4月中旬～5月上旬)

時期	自然・風物名	場所	問い合わせ先
4月中旬	「秀衡桜」満開	那智勝浦町・熊野那智大社	熊野那智大社 0735-55-0321
4月中旬	水芭蕉見ごろ	田辺市・中辺路町近露	中辺路観光協会 0739-64-1470
4月中旬	牡丹の開花	和歌山市・和歌山城公園	和歌山城管理事務所 073-435-1044
		九度山町・真田庵周辺	九度山町観光協会 0736-54-2019
4月中旬	シャガの花見ごろ	田辺市本宮町・中辺路町、 那智勝浦町	熊野本宮観光協会 0735-42-0735
4月下旬	シャクナゲ見ごろ	印南町・川又観音	川又観音 0738-46-0373
		高野町・金剛三昧院	金剛三昧院 0736-56-3838
		田辺市・護摩壇山森林公園	護摩壇山森林公園 0739-79-0667
4月下旬	ツツジ満開	和歌山市・四季の郷公園	四季の郷公園 073-478-0070
4月下旬	フジ見ごろ	橋本市・子安地蔵寺	子安地蔵寺 0736-32-1774
		日高川町・藤棚ロード	日高川町企画政策課 0738-22-2041
4月下旬	カキツバタ見ごろ	和歌山市・養翠園	養翠園保存協会 073-444-1430
4月下旬	除虫菊見ごろ	有田市・石井除虫菊工業所	石井除虫菊工業所 0737-83-3201
4月下旬	「川添茶」茶摘み始まる	田辺市・市鹿野	J A 紀南 0739-23-3450
5月上旬	アユ釣りが解禁	県内各河川	内水面漁協連合会 073-423-7853
5月上旬	ラベンダー咲き誇る	上富田町・富田川河川敷	上富田町役場 0739-47-0550
		和歌山市・ 西ノ庄ふれあいの郷	西ノ庄ふれあいの郷 073-456-3533

～編集後記～

桜の季節もいつしか過ぎ去り、すっかり春らしくなって参りましたが、皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

「和歌山だより」を御覧の皆さん、はじめまして。4月1日付けの人事異動により秘書課長を拝命し、4代目編集長に就任いたしました 中村 一人と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

少し自己紹介をさせていただきますと、以前の所属は行政改革課というところで、県庁内の組織改革や事務事業の見直しなどに取り組むなど、どちらかというと内部管理的な業務に従事しておりました。これからは、県人会の皆さんをはじめ県庁外の方とお会いする機会も多くなると思いますので、今から楽しみしております。いろいろ勉強させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、昨年は、和歌山デスティネーションキャンペーンの取組の効果もあり、県内は多くの観光客で賑わいました。そして、今年もこの勢いのままに、ゴールデンウィーク期間中のインターネットを利用した宿泊予約件数でも、全国第3位と好調です。

4月2日からは、高野山開創1200年記念大法会が始まっています。白浜の双子の赤ちゃんパンダの人気です。また、夏には全国高校総体、秋には紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の開催と大きな行事も目白押しです。皆さんには、例年以上に盛り上がる和歌山に、是非お越しいただきたく思います。

「和歌山だより」も8年目に入りました。ここまで続けてこられたのも、読者の皆さんへの温かい御支援があつてのことと感謝申し上げます。10年、15年と継続できるよう努めて参りますので、御意見もどんどんお寄せください。

編集長として1年目ですが、様々な話題をわかりやすくお伝えできるよう心がけて参りますので、よろしくお願ひいたします。

知事室秘書課長 中村 一人

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

(下記のFAX(様式自由)、E-Mail等でお願いします。)

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

2015年(平成27年)4月 NO.84

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



和歌山県 秘書課

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1

TEL 073-441-2022